

第19回レファレンス協同データベース事業フォーラム

レファレンススキルの磨き方

—調べものの専門家になるために—

昭和女子大学図書館の事例報告



昭和女子大学図書館
前之園 香世子
2024年3月1日



本日の内容

1. 昭和女子大学・昭和女子大学図書館の概要
2. 昭和女子大学図書館のレファレンスサービス
3. レファレンスサービス・レファレンススキル向上のための
取り組み
4. 今後の課題



1. 昭和女子大学・昭和女子大学図書館の概要

1-1. 昭和女子大学・昭和女子大学図書館 概要

1920-1947

1948-1961

1962-2007

2008-現在

1920 (大正9) 創立

昭和女子大学の前身・日本女子高等学院創立（文京区）
（閲覧室約66㎡・書庫兼事務室約19.8㎡）

1922 (大正11)

中野区に移転後、図書室狭隘により図書室改修

1945 (昭和20)

蔵書約35,000余冊になるも、空襲により校舎、蔵書のすべてを焼失
現在の世田谷区太子堂に移転

1946 (昭和21)

創立者人見圓吉が恩師坪内逍遙の『小説神髓』を買い付けてから精力的に図書・雑誌の蒐集を再開

1948 (昭和23)

新学制による大学設立に向けて昭和女子大学図書館を新設（木造瓦葺平屋建310.7㎡・閲覧室約155㎡・書庫約66㎡）、開館2万8千冊を収蔵

1949 (昭和24)

昭和女子大学 開学

1953 (昭和28)

書庫増築（3階建約529㎡）
与謝野寛・晶子夫妻の資料や遺愛品を譲り受け、1955（昭和30）年に与謝野文庫を設置

1958 (昭和33)

『近代文学研究叢書』の第6回菊池寛賞受賞を記念して「近代文庫」を創設
近代文庫竣工（3階建400㎡）図書約2万2千冊、雑誌1千200種を収蔵

1962 (昭和37)

図書館竣工（5階建約1,702.4㎡）、移転、開館
1980（昭和55）年に図書館を増改築して近代文庫移転
総面積3,316㎡、うち近代文庫520㎡

1998 (平成10)

図書館蔵書検索システム導入

2000 (平成12) -2002 (平成14)

図書館内に近代文庫を移設
大学8号館・図書館（地下1・2階、地上2・3・4階の専有面積7,245㎡、図書収容能力70.5万冊）竣工、移転、開館

2004 (平成16)

国立国会図書館レファレンス協同データベース事業に参加
2007（平成19）年から事例登録開始

2008 (平成20)

図書館 基本方針、資料収集方針、サービス方針策定

2013 (平成25)

錦絵デジタルアーカイブ公開
電子書籍導入、提供開始

2015 (平成27)

開架閲覧室をゾーニングし、アクティブラーニングに対応した図書館に改装

2019 (令和元)

地下書庫改修・書架増設（専有面積7,297.3㎡、図書収容能力84.1万冊）



1-2. 昭和女子大学・昭和女子大学図書館 概要

東京都世田谷区

世田谷6大学 コンソーシアム 大学図書館

(駒澤大学・国士舘大学・成城大学・
東京都市大学・東京農業大学)

世田谷区立図書館



昭和女子大学図書館

東急田園都市線 三軒茶屋駅
東京メトロ半蔵門線直通

テンプル大学ジャパン キャンパス図書館

昭和女子大学西キャンパス



約20分



国立国会図書館東京本館

東京メトロ半蔵門線 永田町駅

約30分



東京都立中央図書館

東京メトロ日比谷線 広尾駅

所在地：東京都世田谷区太子堂1丁目7-57



1-3. 昭和女子大学 概要 (2023年度)

大学 6学部14学科

- 人間文化学部
日本語日本文学科
歴史文化学科
- 国際学部
英語コミュニケーション学科
国際学科
- グローバルビジネス学部
ビジネスデザイン学科
会計ファイナンス学科
- 人間社会学部
心理学科
福祉社会学科
現代教養学科
初等教育学科
- 環境デザイン学部
環境デザイン学科
- 食健康科学部
健康デザイン学科
管理栄養学科
食安全マネジメント学科

大学院 3研究科12専攻

- 文学研究科
文学言語学専攻
日本文学専攻
英米文学専攻
言語教育・コミュニケーション専攻
- 生活機構研究科
生活機構学専攻
生活文化研究専攻
生活科学研究専攻
心理学専攻
福祉社会研究専攻
環境デザイン研究専攻
人間教育学専攻
- 福祉社会・経営研究科
福祉共創マネジメント専攻

学生 (学部・大学院) 6,686人



1-4. 昭和女子大学図書館 概要 (2022年度)

資料数

図書（消耗品含）	620,462冊
電子書籍	22,466タイトル
雑誌	17,627タイトル
電子ジャーナル	18,500タイトル
新聞	164タイトル
視聴覚資料	4,101タイトル

開館日数・開館時間

開館日数	265日
開館時間	
月曜日～金曜日	8:45～17:00, 20:30, 21:30
土曜日	8:45～17:00, 18:30
日曜特別開館日	9:00～16:00

対象者

11,643人	
学生	6,491人
教職員	1,454人
その他の利用者	3,698人
・貸出利用者：附属校生徒、卒業生、退職教職員、協定大学の学生・専任教職員、本学関係者など	
・閲覧・施設利用者：他大学・公共図書館等の紹介者、他校高校生など	

入館者数

142,856人	
学部生	128,404人
大学院生	2,447人
教職員	10,535人
その他の利用者	1,470人

組織 (2023年度)

図書館長	
職員	13人（常勤6・非常勤1・派遣6）
委託スタッフ	18人



1-5. 昭和女子大学図書館 概要

レファレンス協同データベース事業

(2024年2月現在)

- 2004（平成16）年12月
レファレンス協同データベース事業に参加
- 2007（平成19）年 事例登録開始
- 2010（平成22）年度 企画協力員賞
- 2011（平成23）年度、
2013（平成25）年度、
2014（平成26）年度 国立国会図書館長
から御礼状

登録データ数

- | | |
|------------|------|
| • 一般公開 | 680件 |
| • 参加館公開 | 6件 |
| • 自館のみ | 152件 |
| • 調べ方マニュアル | 2件 |

被参照件数

- | | |
|-----------------|------------|
| • レファレンス事例(一般) | 1,534,221件 |
| • レファレンス事例(参加館) | 6,004件 |
| • 調べ方マニュアル(一般) | 123件 |
| • 調べ方マニュアル(参加館) | 86件 |



2. 昭和女子大学図書館のレファレンスサービス

2-1. レファレンスサービス 担当者

図書館

■ 資料管理全般
受入・蔵書管理等

■ サービス全般
閲覧・貸出・ILL
利用案内等

レファレンス サービス

■ 事業運営全般
選書・収集
デジタル化
デジタルアーカイブ
学術機関リポジトリ
利用教育
広報・展示
予算管理 等

委託スタッフ (18名)

クイックレファレンス業務 (12名)

職員 (13名) (常勤6名・非常勤7名)

レファレンス業務 (7名)



2-2. レファレンスサービス 受付とバックアップ体制

メインカウンター : 委託スタッフ1～2名体制、職員がバックアップ

主にクイックレファレンス対応

レファレンスカウンター : 職員1名、新任者は経験者と2名体制、バックアップ1～3名
各種質問相談対応

メール : メインカウンター、レファレンスカウンターで対応

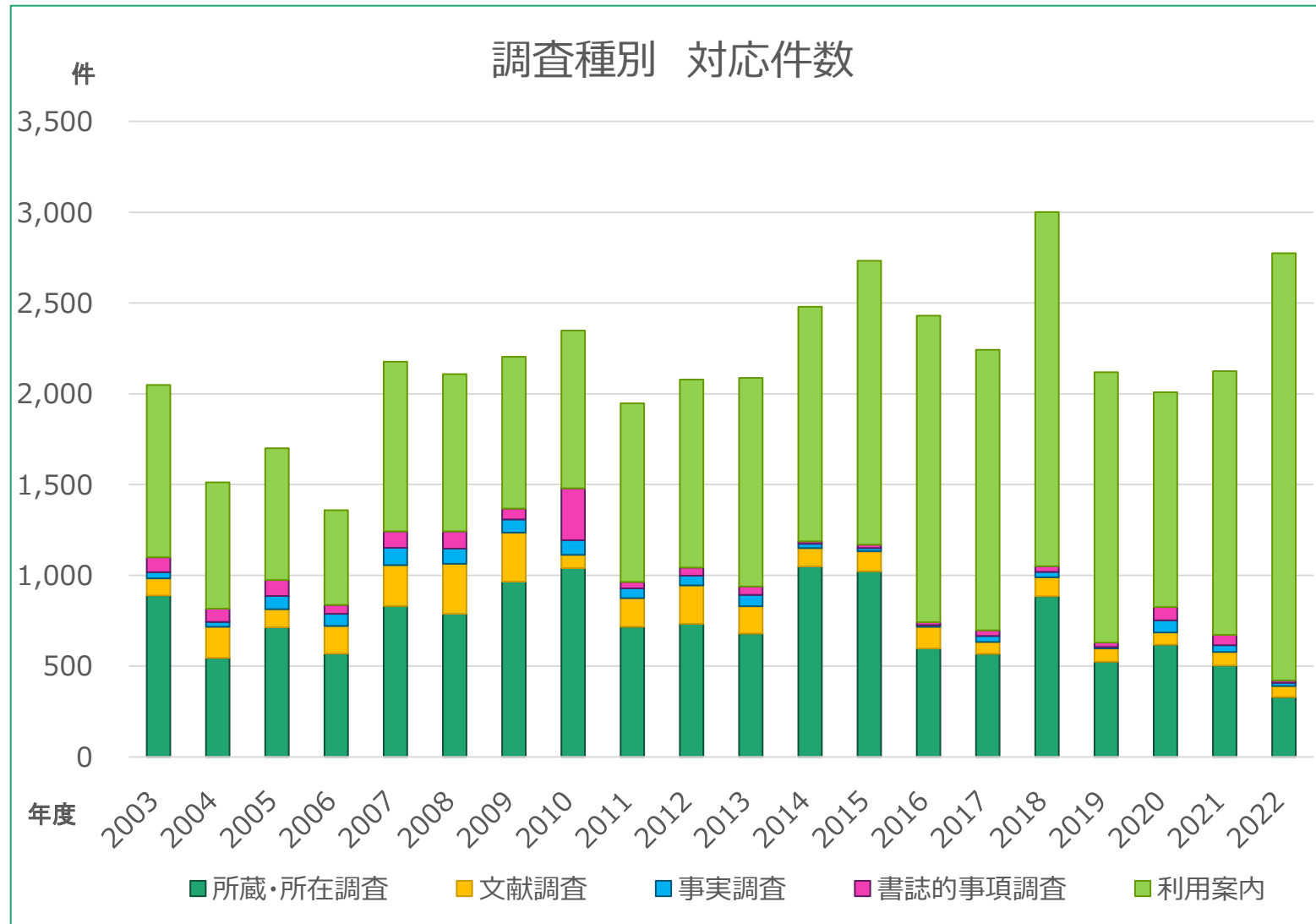
電話 : メインカウンター、レファレンスカウンター、事務室で対応

Web会議システム「Zoom」 (必要に応じて) : レファレンスカウンターで対応

2-3. レファレンスサービス 調査種別

- 所蔵調査
- 他機関所蔵調査
- 文献調査
- 事実調査
- 書誌的事項調査
- 利用案内
- その他（設備・機器案内ほか）

2-4. レファレンスサービス 対応件数



2-5. レファレンスサービス 資料の探し方

昭和女子大学
図書館

セルフラーニング

情報収集をする前に

資料の探し方

蔵書検索

図書館ツアー・利用案内

電子ジャーナル・データベース・電子書籍

文献複写依頼

学科向け本学契約電子ジャーナル・データベース

本学契約データベース紹介

論文・レポート作成参考サイト

論文・レポートのための資料案内

文献管理ツール

複写代行・配送貸出サービス

セルフラーニング

本サイトは、昭和女子大学の学生、教職員を対象とした図書館ガイダンスを独学できるサイトです。内容は随時更新いたしますのでご了承ください。

セルフラーニング

情報収集をする前に

資料の探し方

蔵書検索 (地下書庫の資料請求方法も含む)

図書館ツアー・利用案内

電子ジャーナル・データベース・電子書籍

文献複写依頼

学科向け本学契約電子ジャーナル・データベース

情報収集する前に

昭和女子大学図書館

Google Slides

情報収集をする前に

図書館の資料を使うメリット、情報収集のコツ、図書館ホームページの紹介

資料の探し方 (チャート)

2-6. レファレンスサービス 業務の流れ

• 質問受付

• インタビュー（質問内容の整理、質問者への確認等）

• キーワード／用語の確認・選択、調査戦略の決定

• 検索・調査

• 回答の提示・評価

質問者が満足する結果でない場合、調査戦略を立て直す

• 必要に応じて利用案内（検索方法、レファレンスブックの紹介・使い案内、
書架案内、所蔵館または類縁機関紹介、ILL案内）

• 質問回答の記録・レファレンス協同データベースへの事例登録

• レファレンス質問回答事例の共有

• 資料の探し案内等のレファレンスツールの作成、選書・レファレンスコレクションの整備



2-7. レファレンスサービス インタビュー

質問者とのコミュニケーション

- 明るい雰囲気待機する
- 「何かお探しですか？」と声をかける
- 「〇〇ですね」と質問や質問者の発言を復唱する
- 調査戦略や回答プロセスについて説明しながら調査を進める

スキルアップの方法

- OJTによる経験の積み重ねがもっとも効果的
- 対応直後に先輩等からアドバイスやフィードバックをもらう
- レファレンス質問回答事例でレファレンスインタビューをイメージしながら調査、回答の練習をする



2-8. レファレンスサービス 質問・回答の記録

記録方法

- ① 質問の受付時に、まずメモを取る^{*)}
- ② 回答後に、カウンター備付の記録用紙に記入する
- ③ Excelの質問回答事例ファイルに入力する
- ④ レファレンス協同DBの自館のみ参照シートに下書き保存をする

* : 調査に時間を要すると判断した質問は、質問者が質問用紙に記入する場合がある

記録作業の推進

- レファレンスツールを○で囲むなどして記録を取る
- 簡易な記録でもプロセスや回答を再現できるように心がける



2-9. レファレンスサービス 質問回答事例の共有1 質問を共有し、複数名で調査、記録する 事例紹介

「江戸時代のかたきうちについて、歴史や方法などを知りたい」

江戸時代のかたきうちの歴史や方法など、事例ではなく基礎的な内容が書かれている資料を探している。

受付日：2022年7月11日

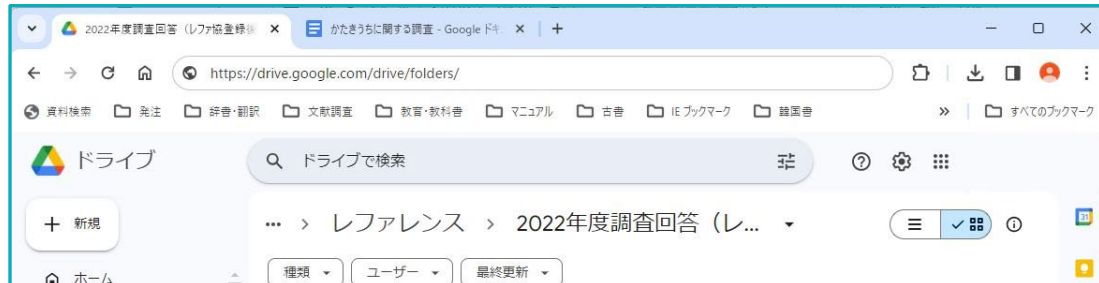
回答日：2022年7月14日

調査担当者：4名

調査所要時間：30分

- ①利用者から質問を受け、Googleドライブ内に調査・回答用のドキュメントを作成する
- ②レファレンス担当者にチャットで連絡して①の質問・調査内容を共有し、調査対象を分担する
- ③自館資料、入手可能な論文等（Web公開・複写可能資料）を中心に調査し、①のドキュメントに入力する
- ④最初にレファレンスを受けた担当者が調査内容を取りまとめ、回答する

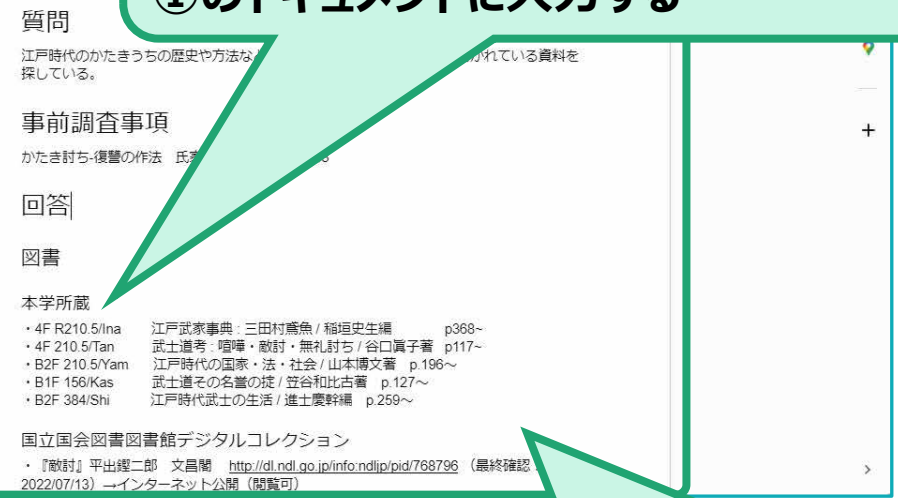
2-9. レファレンスサービス 質問回答事例の共有2



①利用者から質問を受け、Googleドライブ内に調査・回答用のドキュメントを作成する
事前調査事項があれば、入力しておく

②レファレンス担当者にチャットで連絡し、質問・調査内容を共有し、
図書、雑誌など調査対象を分担する

③自館資料、入手可能な論文等（Web公開・複写可能資料）を中心に調査し、
①のドキュメントに入力する



④最初に質問を受けた担当者が
プロセス、回答を取りまとめ、
利用者に回答する



2-9. レファレンスサービス 質問回答事例の共有3

⑤ 質問・プロセス・回答を取りまとめ記録して共有する ⑥ レファレンス協同データベースに事例を登録して共有する (自館のみ参照)

2022年7月 昭和女子大学図書館

質問
江戸時代のかたきうちの方法や方法など、事例ではなく基礎的な内容が書かれている資料を探している。

回答
かたきうち-復習の作法 氏家幹人 080/Chu/1883

図書
本学所蔵
・4F R210.5/Ina 江戸武家事典:三田村篤魚/稲垣史生編 p368~
・4F 210.5/Tan 武士道考:嗚呼・敵討・無礼討ち/谷口眞子著 p117~
・B2F 210.5/Yam 江戸時代の国家・法・社会/山本博文著 p.196~
・B1F 156/Kas 武士道その名譽の掟/笠谷和比古著 p.127~
・B2F 384/Shi 江戸時代武士の生活/進士慶幹編 p.259~

論文
・遠田 雄志, 小川 格「組織論で読み解く江戸時代(7)」『経営志林』法政大学経営学会 48(2) 2011-07 77-89 <https://bit.ly/3uCuPve>

データベース
・JapanKnowledge内の下記データベースに記載あり。「敵討」で検索
・日本大百科全書(ニッポニカ)
・角川古語大辞典
・国史大辞典
・日本国語大辞典

回答プロセス
本学蔵書検索
⇒「敵討」「仇討」等で蔵書検索
・4F R210.5/Ina 江戸武家事典:三田村篤魚/稲垣史生編 p368~
・4F 210.5/Tan 武士道考:嗚呼・敵討・無礼討ち/谷口眞子著 p117~
・B2F 210.5/Yam 江戸時代の国家・法・社会/山本博文著 p.196~
・B1F 156/Kas 武士道その名譽の掟/笠谷和比古著 p.127~
・B2F 210.5/Mit/4 三田村篤魚全集/三田村篤魚, 森続三, 野間光辰, 朝倉治彦(第4巻: 御家騒動, 御家騒動続考, 敵討の語), p.305~

図書
・三田村 篤魚 and 朝倉 治彦『敵討』00795263849088 一本書所蔵なし
・三田村 篤魚 and 森 続三 and 野 間 光 辰『敵討』30262270947300224 一本書所蔵なし
・進士 慶幹『江戸時代武士の生活』書庫3
・近松 半二 and 近松 東南『江戸時代名傾城?討』【出版者不明】 1770

ONi Research(論文)
江戸時代 × 敵討→3件ヒット
・神保 文夫「江戸時代の妻敵討」7-18 250 301-318 <https://doi.org/10.11805/jst.11805584> 一内容確認できず
・山本 博文「考証 真実の江戸時代」1523951030848889536 一内容確認できず
Google scholar
江戸時代 × 敵討→460件ヒット
・遠田 雄志, 小川 格「組織論で読み解く江戸時代(7)」『経営志林』法政大学経営学会 48(2) 2011-07 77-89 <https://bit.ly/3uCuPve>

ONi Reseach(本)
江戸時代 × 敵討→10件ヒット
・坂本 俊夫『浄瑠璃坂の仇討ち』
・大隈 三好『敵討の歴史』雄山閣蔵なし
・谷口 眞子『武士道考:嗚呼・敵討』<https://cir.nii.ac.jp/rid/1130000794>
・氏家 幹人『かたき討ち:復習の作法』一本書所蔵あり(質問者事前確認)
・進士 慶幹『江戸時代武士の生活』一本書所蔵なし
・三田村 篤魚 and 朝倉 治彦『敵討』00795263849088 一本書所蔵なし
・三田村 篤魚 and 森 続三 and 野 間 光 辰『敵討』30262270947300224 一本書所蔵なし
・進士 慶幹『江戸時代武士の生活』書庫3
・近松 半二 and 近松 東南『江戸時代名傾城?討』【出版者不明】 1770

ONi Research(論文)
江戸時代 × 敵討→3件ヒット
・神保 文夫「江戸時代の妻敵討」7-18 250 301-318 <https://doi.org/10.11805/jst.11805584> 一内容確認できず
・山本 博文「考証 真実の江戸時代」1523951030848889536 一内容確認できず
Google scholar
江戸時代 × 敵討→460件ヒット
・遠田 雄志, 小川 格「組織論で読み解く江戸時代(7)」『経営志林』法政大学経営学会 48(2) 2011-07 77-89 <https://bit.ly/3uCuPve>

ONi Reseach(本)
江戸時代 × 敵討→10件ヒット
・坂本 俊夫『浄瑠璃坂の仇討ち』
・大隈 三好『敵討の歴史』雄山閣蔵なし
・谷口 眞子『武士道考:嗚呼・敵討』<https://cir.nii.ac.jp/rid/1130000794>
・氏家 幹人『かたき討ち:復習の作法』一本書所蔵あり(質問者事前確認)
・進士 慶幹『江戸時代武士の生活』一本書所蔵なし
・三田村 篤魚 and 朝倉 治彦『敵討』00795263849088 一本書所蔵なし
・三田村 篤魚 and 森 続三 and 野 間 光 辰『敵討』30262270947300224 一本書所蔵なし
・進士 慶幹『江戸時代武士の生活』書庫3
・近松 半二 and 近松 東南『江戸時代名傾城?討』【出版者不明】 1770

レファレンス事例詳細

更新画面へ 複写登録 ダウンロード 削除

事例作成日 登録日時 2023/09/20 12:25 更新日時 2023/09/20 12:25
提供館 昭和女子大学図書館(3310028) 管理番号 R4-S 公開レベル 自館のみ参照

次のデータへ

質問
江戸時代のかたき討ちの歴史や方法など、事例ではなく基礎的な内容が書かれている資料を探している。

回答
本学所蔵
・4F R210.5/Ina 江戸武家事典:三田村篤魚/稲垣史生編 p368~
・4F 210.5/Tan 武士道考:嗚呼・敵討・無礼討ち/谷口眞子著 p117~
・B2F 210.5/Yam 江戸時代の国家・法・社会/山本博文著 p.196~
・B1F 156/Kas 武士道その名譽の掟/笠谷和比古著 p.127~
・B2F 384/Shi 江戸時代武士の生活/進士慶幹編 p.259~

国立国会図書館デジタルコレクション
・「敵討」平出輝二郎 文昌閣 <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/768796> (最終確認:2022/07/13)→インターネット公開(閲覧可)

論文
・遠田雄志, 小川格「組織論で読み解く江戸時代(7)」『経営志林』法政大学経営学会48(2) 2011-07 77-89 <https://bit.ly/3uCuPve>

データベース
・JapanKnowledge内の下記のデータベースに記載あり。(「敵討」で検索)
・日本大百科全書(ジャポニカ)
・角川古語大辞典
・国史大辞典
・日本国語大辞典

回答プロセス
図書
本学蔵書検索
・4F R210.5/Ina 江戸武家事典:三田村篤魚/稲垣史生編 p368~
・4F 210.5/Tan 武士道考:嗚呼・敵討・無礼討ち/谷口眞子著 p117~
・B2F 210.5/Yam 江戸時代の国家・法・社会/山本博文著 p.196~
・B1F 156/Kas 武士道その名譽の掟/笠谷和比古著 p.127~
・B2F 210.5/Mit/4 三田村篤魚全集/三田村篤魚, 森続三, 野間光辰, 朝倉治彦(第4巻: 御家騒動, 御家騒動続考, 敵討の語), p.305~
・B2F 384/Shi 江戸時代武士の生活/進士慶幹編 p.259~
・B2 322.15/Shi/2-5 徳川禁令考 別巻/【司法省原編】p11-141(レファレンス協同データベース管理番号増補-2006-065)

事前調査事項
かたき討ち-復習の作法 氏家幹人 080/Chu/1883

NDC
歴史(2-9版)



2-10. レファレンスサービス レファレンスツールの作成

資料の探し方案内フロア図

・資格取得・仕事に役立つ

資料の探し方案内フロア図

教員、データサイエンティスト、
心理士、言語聴覚士、
建築士、栄養士

・なりたい自分になるために

図書館のキャリア支援フロア図

記事索引データベース類

・全文検索可能なデジタル化

資料の活用

資格取得・仕事に役立つ資料の探し方案内
教職
教職員免許 (小学校・中学校・高等学校教諭)

図書館ホームページの「[学術関係リンク集](#)」から、教育関係や調べ学習のほか、専門分野の情報を調べることができるWebサイトにアクセスできます。セルフレニングの「[学科向け本学契約電子ジャーナル・データベース](#)」では、各学科でよく利用されている電子ジャーナルやデータベースを紹介しています。

■3F

◎教職などの仕事情報 (キャリア支援) ・本学教員等の研究論文 (本学向け)
・キャリアデザイン・資格・職業関連→教員採用試験参考書・過去問など
・『学苑』(毎年6月号は初等教育学科紀要)
→本学学術機関リポジトリにも掲載、データベース (統合検索・Cinii等) から検索可

◎参考図書 (テーマや主題について調べるための文庫目録、事典・辞典、専門事典、図鑑、年表など)
■百科辞典 R030~
・R031/Gib『ブリタニカ国際大百科事典』(オンライン版:ブリタニカ・オンライン・ジャパン)
・R031/Nih『日本大百科全書』(JapanKnowledgeでも閲覧可。詳細(個別)検索-検索コンテンツ-百科)
・R031/Pop『ポプラディア:総合百科事典』ほか
■こども向け百科事典
・学研キッズネット:小中学生対象の学習情報や学研の学習事典の用語等を検索・閲覧可能
■教育関係の事典典 R370~379
・R370/Abi『現代学校教育大事典』ほか
■言葉の意味 国語辞典典 R813~813.1
・R813.1/Ken『三省堂国語辞典』ほか
・R813.1/Nih/1-14『日本国語大辞典』(JapanKnowledgeでも閲覧可。詳細(個別)検索-検索コンテンツ-日本語)ほか
■漢字・熟語のヨミや意味 漢和辞典典 R813.2
・R813.2/Yam『若波新漢語辞典』ほか
・R813.2/Mor/1-13『大漢和辞典』(JapanKnowledgeでも閲覧可。詳細(個別)検索-検索コンテンツ-日本語)ほか
・R813.2/Shi『字通』(JapanKnowledgeでも閲覧可。詳細(個別)検索-検索コンテンツ-日本語)ほか

◎白書・統計・年鑑
教育学関連等の論文や文献を探す/統計数値・データ・図表などから現状を調べる
『教育アンケート調査年鑑』『学校基本調査報告書』『学校保健統計調査報告書』『文部科学白書』『教育白書』ほか
※インターネットでも、統計データや白書が公開されています
・白書・統計・出版物(文部科学省)
・e-Stat:政府統計の窓口
・白書等 (e-Govポータル):各行政機関が公表する白書に関する情報

◎視聴覚資料
視聴覚コーナーでビデオ・DVD等の映像資料を学ぶ
ビデオやDVDは3階閲覧室、2階視聴覚資料室にあります。カウンターで請求してください。
紙書検索(OPAC)のほか、視聴覚資料の目録ファイルで探すことができます。
・『ビジュアル教育心理学入門』DV37/14/1-10
・『シリーズ「林竹二の授業」』DV37/34/1-3
・『「特別の教科書」考え方と進め方』DV37/37/1-4 ほか

◎雑誌
学術論文等検索(教育関係)を調べる
・国立教育政策研究所:国立教育政策研究所教育研究情報データベース(ERJID)等
・ERIC:教育論文データベース(米国教育省機関提供)
・Music Periodicals Database (ProQuest):音楽に関する雑誌記事データベース

3階雑誌架 教育学関係の主な雑誌タイトル

教員養成セミナー	教育心理学研究	受験ジャーナル
内外教育	保育界	切抜き速報 教育版
切抜き速報 保育と幼児教育版	授業力&学級経営力	発達教育
保育の友	初等教育資料	学校給食
こども発達学研究	中等教育資料	総合教育技術

◀裏面に続く▶

■4F

B1階図書雑誌 教育学関係の主な雑誌タイトル
※書庫資料は「資料請求票」でカウンターに請求、または書庫入り庫手続してください。

教育学研究	週刊教育資料	児童青年精神医学とその近接領域 (2022年まで)
教育委員会月報 (2020年まで)	学校の食事	指導と評価
青年心理学研究		

電子ジャーナル
※電子ジャーナルは、蔵書検索(雑誌検索)で探すことができます

Music Perception	Psychology of Music+Research Studies in Music Education
------------------	---

◎新聞 (新聞記事検索データベースを含む)
新聞記事検索データベースも他のデータベース同様、学内・自宅のパソコンからアクセスできます。
図書館ホームページ-セルフレニング(資料の探し方)-新聞をご覧ください。

◎専門紙
・日本教育新聞記事検索データベース:日本教育新聞の記事を検索・閲覧(ID・PWはカウンターに照会のこと)
一般紙
・朝日新聞クロスサーチ(朝日新聞社) ・ヨミダス歴史館(読売新聞社)
・毎業(毎日新聞社) ・日経テレコン(日本経済新聞社)
※最新3日分(原紙)は3F新聞架、新聞縮刷版はB1階書庫にあります。

◎図書 ※電子書籍も多数あります (Maruzen eBook Library)
◎教科書・学習指導要領 小・中・高の各教科のものがあります。
学習指導要領・授業評価375.1 / 視聴覚教育375.19 / コンピュータ教育375.199
中学校指導用DVD(各教科)
◎児童図書・絵本 J000~999 調べ学習・食育(児童向け)
◎女子教育 女30~38
◎教育 37~
教育心理学 371.4
教育心理371.4 / 児童心理371.45 / 青年心理 371.47
教育政策・教育制度・教育行政 373
教育制度373.1 / 教育法令373.2 / 教育制度373.1 / 教育実習・教員養成373.7
学校経営・管理・学校保健 374 (小中高等学校)
教職教育・教師374.3
幼児・初等・中等教育 376
幼児教育・保育原理376.1 / 幼児教育課程376.15
社会教育・生涯学習 379
各教科・教育法 375
社会 375.31 / 歴史 375.32 / 地理 375.33 / 道徳375.35 / 数学・算数375.41
理科375.42 / 保健・体育375.49 / 技術・家庭科375.5 / 職業教育375.6
図画・工作・美術375.72 / 国語375.8 / 英語・外国語375.89
◎家政学・生活科学 59~ / 食育・栄養教育 596.89
◎発達心理学・発達支援 143
◎読書指導・ブックトーク 015~019

関連ウェブサイト
[官公庁・資格認定機関・団体等]
・文部科学省:教育、学術、文化に関する行政や最新動向・情報・教育カテゴリ一覧
・各自治体教育委員会:教育行政に関する最新動向・情報
例:東京都教育委員会、世田谷区教育委員会 など
・E-TOPiA(東京学芸大学附属図書館):教育情報ポータルサイト
・教育データベース(社団法人日本教科書協会の)
・特別支援教育 教材・指導法データベース(筑波大学特別支援教育連携推進グループ)
・教材・教員データベース(独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所)
・教科書目録情報データベース(公益財団法人 教科書研究センター 教育図書部)

図書・雑誌・視聴覚資料など、図書館ホームページの蔵書検索を利用し、書庫の資料も活用しましょう。資料の探し方や調べ方がわからない場合は、レファレンスカウンターにご相談ください。

昭和女子大学図書館 2024年02月版

2-11. レファレンスサービス 選書・レファレンスコレクションの整備

選書力をつける

- 新着図書を見たり、シェルフリーディングをする機会を作る
- 配架資料の書誌分類や書架分類をみる
- 自分で分類番号を付与するなどの各種資料の受入れ・整理業務に携わる機会を作る

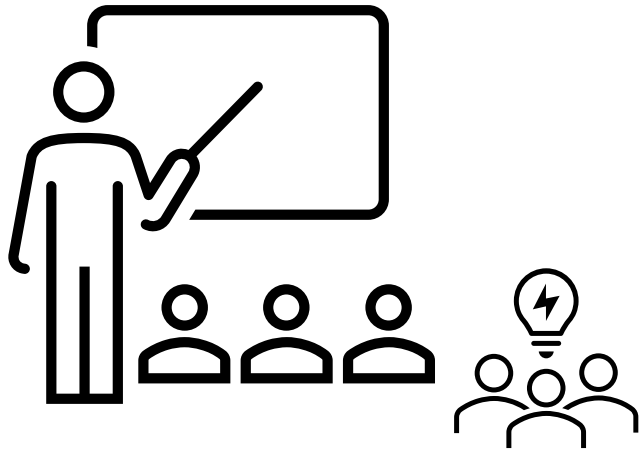
レファレンスコレクションの整備

- 質問の多い主題を中心にレファレンスブックやデータベース類を選定し、コレクションを充実させる
- よく利用するレファレンスブックはカウンター付近に備えておく
- データベース類のリンク集を作成、更新して共有する



3. レファレンスサービス・レファレンススキル向上のための 取り組み

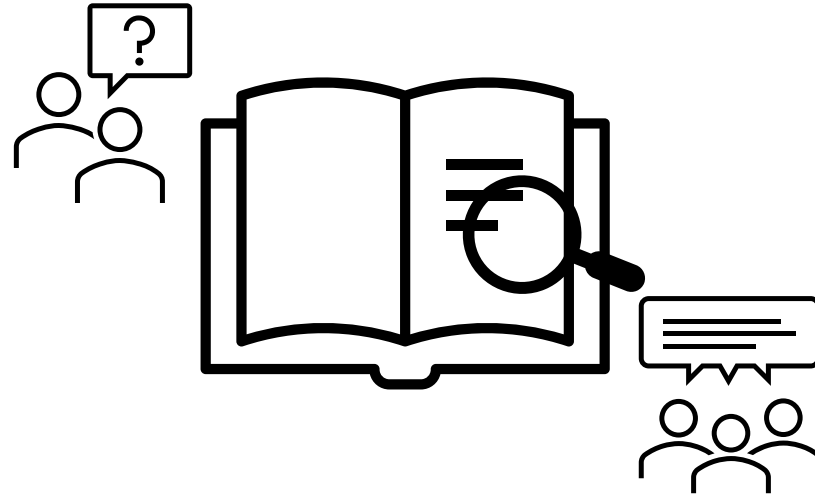
3-1. レファレンスサービス向上のための取り組み1 館内研修



講師派遣型研修会の開催

2019年

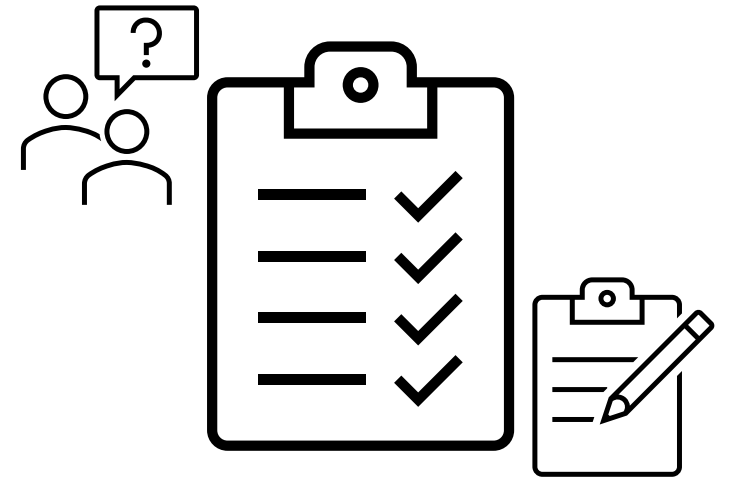
特定非営利活動法人
大学図書館支援機構から
の派遣講師による研修



図書館勉強会の開催

2021年

特殊資料を調べる

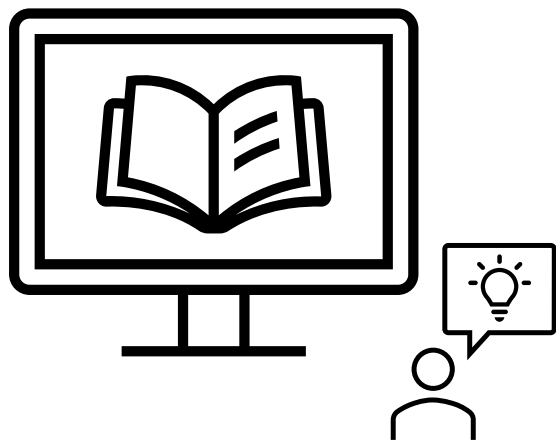


レファレンス協同DBへの 事例登録実務演習

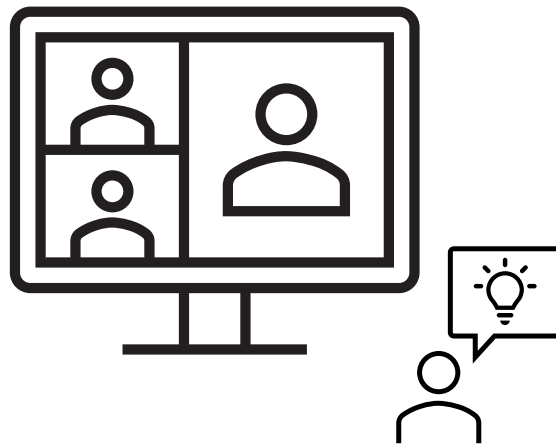
2023年

- ・図書館インターンシップ参加
学生の質問回答事例登録
- ・新任者向け研修

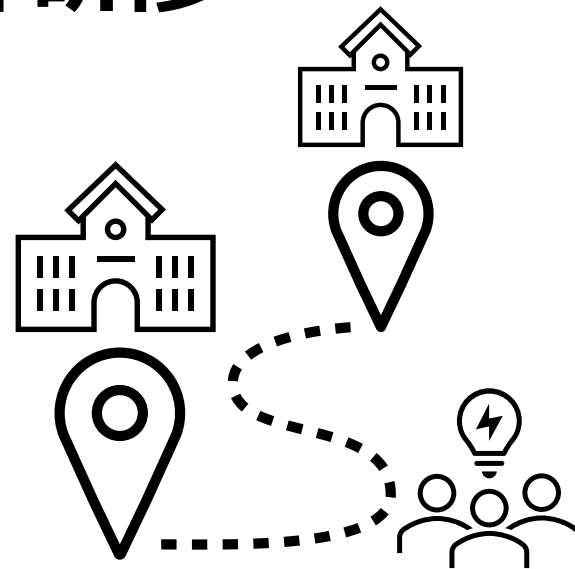
3-1. レファレンスサービス向上のための取り組み1 館外研修



**国立国会図書館
レファレンスサー
ビス研修**
オンライン研修会等



**図書館関連団体・
関連機関の
研修会**
オンライン研修会等



**大学図書館
見学研修**
2019年
・東京大学総合図書館・別館
・政策研究大学院大学図書館



**専門情報機関
見学研修**
2022年
・新宿区立漱石山房記念館
・新宿区立歴史博物館

3-2. レファレンスサービス向上のための取り組み2 ノウハウの共有・継承

マニュアル整備・OJT

- ・レファレンス担当
質問回答サービス
業務マニュアル
- ・レファレンス協同
データベース作業
マニュアル ほか

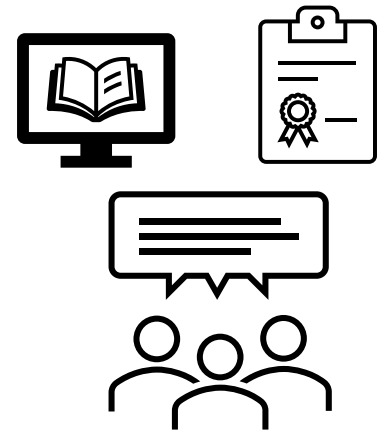
質問・回答事例の記録

- ・Googleドライブ内で質問を共有し、複数名で調査、記録する
- ・レファレンス協同データベースに登録する
- ・クイックレファレンスは、手書きで記録後、Excelの質問回答事例ファイルに入力・管理する

研修等

- ・レファレンスサービス関連
研修への参加
- ・参加者からの報告
- ・レファレンスサービス関連
資料の回覧

共有





3-3. レファレンススキル向上のための取り組み1 レファレンス調査に備えて

担当者

- ・定期的にセルフリーディングをして自館資料を大まかに把握
- ・利用可能なデータベース類の内容を把握
- ・見計らい本や新着資料の内容と、索引・参考文献・引用文献の有無などを確認
- ・レファレンスブック、レファレンスツールの紹介本を参照し、所蔵の有無・利用可否などを確認
- ・学内研究発表の要旨集等を読覧して、研究・調査に用いられたレファレンスツールを把握

3-4. レファレンススキル向上のための取り組み2

レファレンス協同データベースの事例や調べ方マニュアルを活用する

- 事例を参照して再現してみる
- 調べ方マニュアルを読んでレファレンスツールを使ってみる

数館の公立図書館に行き、同じ質問（自分の調査結果が未解決の質問）を試してみる

- 各館のレファレンスインタビューを体験しながらノウハウを学ぶ

気になった事柄、調べたい事柄など、レファレンス質問に置き換えて自分で調査してみる

- キーワードの選び方、調査戦略の立て方を考える
- 質問回答事例としてメモを取って経験を積み重ねておく



4. 今後の課題



4-1. 今後の課題 レファレンスサービス研修

自館に合わせた研修内容が望ましい

- ・大学図書館のため、各学科のカリキュラムを把握し、これまで蓄積してきた事例に基づき、よく使われるレファレンスツールの利用方法を習得する
- ・担当者全員の研修の実施が困難な場合は、日々のレファレンス質問・調査・回答を研修（OJT）とする

各種データベース等の把握は、個人で行うことが必要

- ・図書館ホームページ掲載のデータベース類で利用頻度の高いものから、直接アクセスして内容を確認する
- ・セルフラーニングサイトの資料の探し方や学科別に有用なデータベースを使って把握する
- ・調査・回答に用いる資料・情報等の選書力と評価力（信頼された資料・情報を見つける力）をつける

資料・情報等の選書力と評価力についてはスキルアップ研修が必要



4-2. 今後の課題 対話型AIサービスの検証1 レファレンス協同データベースと対話型AIサービスを併用してみる1

調査・検索に行き詰ったときに
対話型AIサービスを使って参照してみる

資料・情報等の評価は重要
必ず原点にかえり、図書館のレファレンスツールで確認する

資料・情報等の評価力をつけるためのツールとして、レファレンス
協同データベースを併用して対話型AIサービスを検証する

4-2. 今後の課題 対話型AIサービスの検証2

レファレンス協同データベースと対話型AIサービスを併用してみる2

OpenAI「ChatGPT」例

Google「Gemini」例

ChatGPT3.5

You

江戸時代のかたきうちの歴史や方法など、事例ではなく基礎的な内容が書かれている資料を探している。

ChatGPT

江戸時代のかたきうちに関する基礎的な情報が見つかるためには、以下のような一般的な歴史書や日本の文化に関する書籍を探すことが効果的です。

- 「江戸時代の社会史」や「江戸時代の文化史」といったテーマを扱った総合的な歴史書: こうした書籍には、江戸時代の社会や文化に関する基本的な情報が含まれており、かたきうちの背景や実践方法についても触れられていることがあります。
- 「日本の民俗学」や「日本の伝統文化」に関する書籍: かたきうちは日本の伝統的な文化や民俗に関連する行為の一つですので、こうした分野を扱った書籍には、かたきうちの歴史や方法に関する基礎的な情報が含まれている可能性があります。
- 日本の武士道や復讐文化に関する書籍: かたきうちは武士や庶民の間で行われた復讐行為であり、日本の武士道や復讐に関する文化的な背景や理念に基づいて行われることがあります。関連する書籍には、かたきうちに関する基礎的な情報が含まれていることがあります。

これらのジャンルの書籍を図書館やオンライン書店で探してみてください。特に江戸時代の社会や文化に関する歴史書や日本の伝統文化に焦点を当てた書籍には、かたきうちに関する基礎的な情報が見つかる可能性が高いです。

江戸時代におけるお侍の歴史や方法について、事例ではなく基礎的な内容が書かれている資料をお探しのことですね。以下、いくつかの資料をご紹介します。

書籍

- 『江戸時代の侍』(小和田哲夫著、岩波新書)
 - 江戸時代の侍に関する概説書。侍の歴史、制度、文化、思想などを幅広く解説。
- 『復讐と敵しのあいだ ジェノサイドと大規模暴力の後の歴史と向き合う』(マーサ・ミノウ著、信山社出版)
 - ジェノサイドや大規模暴力における復讐と敵しの問題を考察。江戸時代の侍も事例として取り上げられている。
- 『侍の歴史学』(山本博文著、吉川弘文館)
 - 古代から江戸時代までの侍の歴史を、法制史、社会史、民俗学などの視点から考察。

論文

- 『江戸時代の侍』(小和田哲夫著、日本歴史学会編『日本歴史』第633号、2002年)
 - 江戸時代の侍に関する最新の研究成果をまとめた論文。
- 『近世侍の社会史』(山本博文著、日本史研究会編『日本史研究』第439号、2000年)
 - 江戸時代の侍の社会史的な考察。

ウェブサイト

- 国立公文書館デジタルアーカイブ
 - 江戸時代の侍に関する史料を閲覧することができる。
- ジャパンナレッジ
 - 侍に関する項目を解説。

その他

- 時代劇
 - 江戸時代の侍を題材とした時代劇は、侍の文化や方法を知る手がかりとなる。

上記以外にも、図書館や博物館などで資料を探することができます。

資料を探す際のポイント

- 書籍や論文の場合は、著者や書評などを参考に、信頼できる資料を選ぶ。
- ウェブサイトの場合は、運営者や情報の出典を確認する。
- 時代劇の場合は、フィクションであることを念頭に置いて、史実との整合性を検証する。

これらの資料を参考に、江戸時代のかたきうちについて理解を深めていただければ幸いです。

江戸時代におけるお侍の歴史や方法について、事例ではなく基礎的な内容が書かれている資料をお探しのことですね。以下、いくつかの資料をご紹介します。

1. 書籍

- 『復讐と敵しのあいだ ジェノサイドと大規模暴力の後の歴史と向き合う』著者: マーサ・ミノウ出版社: 信山社出版
- 本書は、復讐と敵しという普遍的なテーマを歴史学、法学、政治学などの視点から考察したものです。江戸時代の侍についても触れられており、当時の社会における復讐の捉え方や、侍の制度について理解を深めることができます。
- 『侍の歴史』著者: 山本博文出版社: 日本エディタースクール出版部
- 本書は、古代から現代までの日本における侍の歴史を概観したものです。江戸時代の侍の制度の詳細や、具体的な事例についても解説されています。
- 『江戸時代の侍』著者: 小和田哲夫出版社: 吉川弘文館
- 本書は、江戸時代の侍に関する研究書です。当時の法制や社会情勢を踏まえ、侍の実態を多角的に分析しています。

2. ウェブサイト

- 国立公文書館デジタルアーカイブ
- 江戸時代の侍に関する史料を閲覧することができます。実際に侍が扱われた際の記録など、貴重な資料が多数公開されています。
- ジャパンナレッジ
- 江戸時代の侍に関する情報が掲載されています。侍の歴史や制度、有名な侍の事件などについて解説されています。

3. その他

- 大学図書館
- 大学図書館では、江戸時代の侍に関する書籍や論文を所蔵している場合があります。大学によっては、デジタルアーカイブで公開していることもあります。
- 博物館・資料館
- 江戸時代の侍に関する資料を展示している博物館・資料館もあります。実際に侍に使われた武器や資料を見学することで、当時の様子をより深く理解することができます。

以上、江戸時代のかたきうちの歴史や方法について書かれている資料をご紹介します。これらの資料を参考に、江戸時代の侍についてさらに詳しく調べてみてはいかがでしょうか。

補足

- 江戸時代の侍に関する資料は、非常に多くの種類があります。上記以外にも、様々な資料が存在します。
- 資料を閲覧する際には、その資料の信頼性や正確性を確認することが重要です。
- 江戸時代の侍に関する情報は、現代の価値観とは異なる場合があります。資料の内容を批判的に読み解くことが必要です。

ご清聴いただきありがとうございました

